



# 友垣よ

練馬区立石神井西中学校だより  
令和六年四月十日 第一(十三)号  
校長 井上 貴 推

## 御入学、御進級おめでとうございます

本年度も引き続き校長を務めます井上貴雅でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。歴史ある校舎に素敵な校歌。そして、何より始業式、入学式での生徒の皆さんの凛とした姿勢に感動しました。学校だよりのタイトルは昨年引き続き校歌にも歌われた「友垣よ」としました。入学式の校長式辞を、一部を省略して掲載いたします

### 令和六年度 入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

この会場への入場から、今こうして、背を真っ直ぐに伸ばした姿勢に、「今日から石西中の生徒として頑張ろう」という意気込みを感じました。こうした皆さんの姿は、『凛とした石神井西中学校の生徒』の基本であり、心強く思いました。つい二週間前まで小学生であったとはとても信じられず、おうちの方々も小学校の先生方も、きっと喜んでおられることと思います。

石神井西中学校は、昭和二十二年の開校以来、「自由と自治」を合言葉に歴史を紡いできた伝統校です。

さて、この入学式で皆さんにどんな言葉を送ろうかと一か月ぐらい前から考えていました。昨年の入学式では、「幸せになってほしい」というメッセージをお送りしました。今年は「毎日を楽しく生きてほしい」というメッセージを送りたいと思います。

「毎日を楽しく過ごしてほしい」と聞いて、「えっ、楽しいだけいいの?」と思った人もいるかもしれません。私は「楽しい」ことこそ、生きる活力であり、それこそ究極の目的ではないかとの結論に達しました。ただし、楽しいのは「今」だけではなく、これから先もず

っと、できるだけ楽しく過ごして貰いたいということ。この思いは、きつと御家族の方々と同じだと思えます。また、本校の教職員や御臨席いただいた御来賓の皆様も、そう思ってくださいということだと思います。

「今だけ楽しければいい」というのと、「これから先もずっと楽しく」ということは、実はずいぶん違います。また、「自分だけが楽しい」のか、「ここに集う全員が楽しい」のかも違ってきます。

まず、時間軸のお話をします。皆さんが三年後に卒業するとき、自らの進路をしっかりと将来を見据えて決定できているでしょうか。その後、人生に彩りをくれる役割や仕事をきちんと見つけることができず、人生が暗くなる。それだけのときに、必要な能力が、十分身に付いていなければ、その後の生活を楽しむことはできません。また、日々楽しく生活するためには、次々に起こる問題を解決するためのコミュニケーション能力や、相手を尊重したり、自分を抑え、我慢したりする力なども必要になってきます。

つまり、皆さんのこれからの人生を、できるだけ楽しくしようと思つたら、中学生のうちに、将来の人生を楽しく豊かにするために必要なことを、身に付けていく必要があるのです。「今を楽しく生きる」時間と「これから先もずっと楽しく生きていく」ために使う時間を両立していろいろなことにどんどん挑戦して欲しいと思います。

次に空欄軸のお話です。「自分だけ楽しい」というのと、「みんなと一緒に楽しい」というのもずいぶん違います。スポーツの試合がいちばん分かりやすいかもしれませんが、スポーツでは、全員が優勝したり、全チームが勝つたりすることはありません。優勝すれば嬉しいし、勝てば楽しい世界が広がります。でも、全員がその喜びを味わえるわけではありません。しかし、勝つのは一部の人であっても、きちんとしたルールの下で、最大限の努力をして取り組むことは、とても重要なことです。取組み自体を楽しいものにすることもできますし、それを通じてお互いを高め合うこともできます。ですから、自分だけが勝つて楽しい思いをしようとするのではなく、例え競争相手であったとしても、取組みを通じて一緒に楽しくなるにはどうしたらよいか

を常に考えてほしいということです。

入学式は卒業式と違って練習が全くだきない、いわばぶつつけ本番という状況で行われます。知らない人も多く、初めての場所で行われる儀式ですが、皆さんは立派に式の主役として参加しています。これは小学校まで、それぞれの家庭や学校での御支援・御指導によるたまものだと思います。これから皆さんが入学する、この石神井西中学校の先生方も皆さんに対して、あらゆる手助けを惜しみません。また、二、三年生も自分たちの経験を基にして、きつとあたたかく応援してくれます。保護者や地域の方々も必ず支えとなってくださいます。

しかし、頑張り、努力するのは皆さん一人一人、自分自身であることも忘れないでください。このような本校で学べることを誇りに思い、この歴史ある学び舎で石神井西中学校の新たな伝統を作り出してくれることを期待します。

保護者の皆様、皆様にとってかけがえのない大切なお子様方一九六名に本日、石神井西中学校へ御入学いただきました。立派なお子様の姿に、感慨も一人のことと拝察いたします。本校に勤務いたします教職員全員、全力を挙げてお子様方の成長のために努力してまいります。中学生という時期は個の確立のため、大人からの干渉を嫌い、自らの価値観を築こうと、もがき、葛藤を繰り返す時期であります。そのような時期だからこそ、学校と家庭が協力していくことが何より重要であると考えております。お子様の教育に関わる悩みや疑問を持たれた場合は、どうかご遠慮なく学校に御相談くださるよう、お願いいたします。現代の社会には、様々な問題が内在しており、それらの影響から、けっして短時間には解決しないことも多いと思います。そんなときこそ、御一緒に、一人一人のお子様に合わせて望ましい方策を考えて、実行して参りたいと思います。どうぞ三年間よろしくお願ひ申し上げます。

以上をもって、令和六年度入学式の式辞といたします。新入生の皆さん、あらためておめでとう。これから一緒にがんばりましょう。

令和六年四月九日

練馬区立石神井西中学校長 井上貴雅

### 【教職員異動】

<転出>	指澤 麻子主任教諭	東大和市立第四中学校へ
	森田 莉香主任教諭	東京都教職員研修センター 教育開発課次世代リーダー育成道場へ
	鈴木 大貴教諭	大田区立南六郷中学校へ
	佐々木史弥教諭	さいたま市立大成中学校へ
	北川 圭子教諭	練馬区立石神井中学校へ
	北爪 美帆主事	東京都立第五商業高等学校へ
<転入>	遠藤 祐哉教諭	日野市立日野第四中学校より
	沖田 美緒教諭	新規採用
	稲葉 海渡教諭	新規採用
	岡田 竜弥教諭	新規採用
	近間 奎哉教諭	新規採用
	阿部 杏奈教諭	練馬区立南が丘中学校より
	油原 正英主事	東京都立田無特別支援学校より

よろしくお願ひいたします。

「Sigfyの登録について」 今後、学校からの連絡や、学校便り・学年便りの送付、アンケート等を行います。また、欠席や遅刻の連絡なども、Sigfyを通じて行っています。登録をお願いします。